



パルコグループ主要各社 2017年度期末経営推移

Major Companies of PARCO Group
FY2017 Results

		2014年度 通年 実績 Fiscal 14 Actual	2015年度 通年 実績 Fiscal 15 Actual	2016年度 通年 実績 Fiscal 16 Actual	2017年度 通年 実績 Fiscal 17 Actual	2018年度 通年 予想 Fiscal 18 Estimate		
		(単位: 百万円 Unit: Million yen)						
(SC運営・エンタテインメント事業) パルコ PARCO CO., LTD. 店舗数18店舗 ゼロゲート店舗8店舗	売上高	245,646	249,366	240,221	-	-	【2017年度トピックス】	
	営業収益	-	-	-	56,462	59,375	店舗事業では、動員企画が奏功し、各店の集客に貢献。改装においては、コスト消費拡大への対応と、成長テーマでもある食(食品・飲食)・化粧品や新しいサービス業態を導入。また、スクラップ&ビルドの遂行としては、8月に大津店を閉店した一方、11月に京都ゼロゲートを一部開業したほか、J. フロントリテイリンググループのアーバンドミナント戦略に沿い、大丸松坂屋百貨店との協業物件として、新しい屋号となる「PARCO ya」を上野に開業し、都市部での事業拠点拡大を推進。	
	営業利益	11,747	11,731	11,815	11,016	10,782		
	経常利益	11,718	11,727	12,618	-	-		
	当期純利益	5,994	5,932	6,049	7,680	7,272	【2018年度テーマ】	
	総資産	222,876	233,450	247,027	258,562	-	中期経営計画の2年目として計画に基づく事業を展開。2019年開業予定の新生渋谷パルコを見据え、次世代商業施設としての価値創造とストアブランドの強化、テクノロジーの進化に対応したデジタルトランスフォーメーションを推進。開発では、都市部での事業拡大に向け、2018年3月開業の「原宿ゼロゲート」に続き、秋には「三宮ゼロゲート(仮称)」の開業を予定。	
	純資産の部	113,696	116,827	120,758	125,089	-		
(雑貨販売) パルコ NEUVE A CO., LTD. 店舗数186店舗(内パルコ49店舗)	売上高	19,802	21,473	21,640	-	-	【2017年度トピックス】	
	営業収益	-	-	-	21,216	21,430	次期以降の利益率向上に向け、店舗のスクラップ&ビルドを推進したことによる店舗数減の影響があり、営業収益・営業利益ともに前期実績を下回る。	
	営業利益	647	694	435	75	381		
	経常利益	647	694	463	-	-		
	当期純利益	300	269	105	39	247	【2018年度テーマ】	
	総資産	6,569	7,148	7,505	6,854	-	既存事業の再強化に向け、スクラップ&ビルドの推進、オリジナル商品の強化により利益率の向上を図るとともに、デジタル戦略を加速し、オムニチャネル化の推進とマーケティングの強化による利益拡大を推進。	
	純資産の部	2,515	2,785	2,890	2,827	-		
(内装・ビルメンテナンス) パルコ PARCO SPACE SYSTEMS CO., LTD.	売上高	18,983	19,969	20,242	-	-	【2017年度トピックス】	
	営業収益	-	-	-	21,399	22,260	新規案件の受託増など計画以上に好調推移し営業収益は前期を上回るが、前期における固定資産売却の影響などにより営業利益は前期実績を下回る。	
	営業利益	328	433	629	652	641		
	経常利益	349	458	596	-	-		
	当期純利益	164	22	554	446	421	【2018年度テーマ】	
	総資産	8,896	8,143	9,477	9,936	-	パルコや外部の受託案件で培ったノウハウ・技術を強みとしながら、外部商業施設におけるビル管理業務の複合受注体制を強化し、J.フロントリテイリンググループでの連携を含めて、業容拡大を推進。	
	純資産の部	2,692	2,628	3,174	3,309	-		
(IT) パルコ PARCO DIGITAL MARKETING CO., LTD.	売上高	687	866	921	-	-	【2017年度トピックス】	
	営業収益	-	-	-	882	1,000	Webコンサルティング事業においては、前期大型受注の反動により営業収益は前期実績を下回るが、販管費の縮小などにより営業利益は前期実績を上回る。	
	営業利益	6	32	70	68	70		
	経常利益	7	32	71	-	-		
	当期純利益	6	29	62	49	48	【2018年度テーマ】	
	総資産	196	308	309	365	-	中核事業である商業施設向けのICT活用戦略により、外部クライアントの開発強化、事業の拡大を推進するとともに、独自性のあるサービスの開発を強化。	
	純資産の部	76	106	168	218	-		
(海外) PARCO (Singapore) Pte Ltd (12月決算 Fiscal Year-end in December)	売上高	-	-	77	-	-	【2017年度トピックス】	
	営業収益	-	-	-	169	135	日系飲食集積ゾーン「itadakimasu by PARCO」認知度向上・運営安定に向けた販売促進継続に加え、THE GUEST CAFE 第3弾を新キャラクターで開催し引き続き大きな反響を獲得。また、『商業プロデュース』としてベトナムホーチミン並びに台湾でサービスを提供。	
	営業利益	-179	-82	-89	-67	-49		
	経常利益	-127	-74	-87	-	-		
	当期純利益	-127	-74	-87	-66	-49	【2018年度テーマ】	
	総資産	455	315	250	195	-	日系飲食集積ゾーン「itadakimasu by PARCO」営業強化及び新規案件検証、並びに海外での都市型商業プロデュース案件として将来協業に向けたパートナーとの協議を継続。また、グループコンテツの海外展開支援とインバンドへ貢献を推進。	
	純資産の部	384	293	189	128	-		

※店舗数は2018年2月末現在

(注)当社は2017年度第1四半期より国際会計基準(IFRS)を任意適用しております。